

1. なんば駅前広場について

- なんば駅周辺の道路空間を、車中心から人中心の空間へと再編し、世界をひきつける観光拠点として上質で居心地の良い空間を創出
- 「なんば駅周辺における空間再編推進事業 整備プラン」を令和4年7月策定。整備プランにおいて、以下の基本方針を位置づけ
- 駅前広場周辺はにぎわいのある道路空間を構築するため、御堂筋と同様に歩行者利便増進道路(通称、ほこみち)として令和5年3月に指定済み

「なんば駅周辺における空間再編推進事業 整備プラン」より抜粋

3. 基本方針

(2) シンボル空間創出の方針

方針① 多様な活動の舞台となる空間の創出

- ・新たな大阪の玄関口としてのシンボル性・高質性や、心地よい空間としての滞留性・回遊性を備えた空間として、都市格を感じる空間づくりをめざします。

舗装デザインへの展開

- 整備プランにて位置づけた基本方針に基づき、地元や有識者と調整しながら、広場の舗装(御堂筋と同等グレードの擬石平板)のデザインについて合意

なんば広場

- ・御堂筋とのつながりを重視し、「通行空間」は御堂筋歩道と同仕上げとする。
- ・「滞留空間」は上質で居心地の良い場とするため、周辺歩道の平板サイズと変化をつけ領域感を創出する。
- ・平板の色調は周辺の建築物との調和に配慮し暖色系を選定する。

【基壇(フロアテクスチャ)】

御堂筋と広場、広場となんさん通りをつなぐ一体的な舗装パターン



広場周辺部



広場中央部

【通過動線と滞留空間】

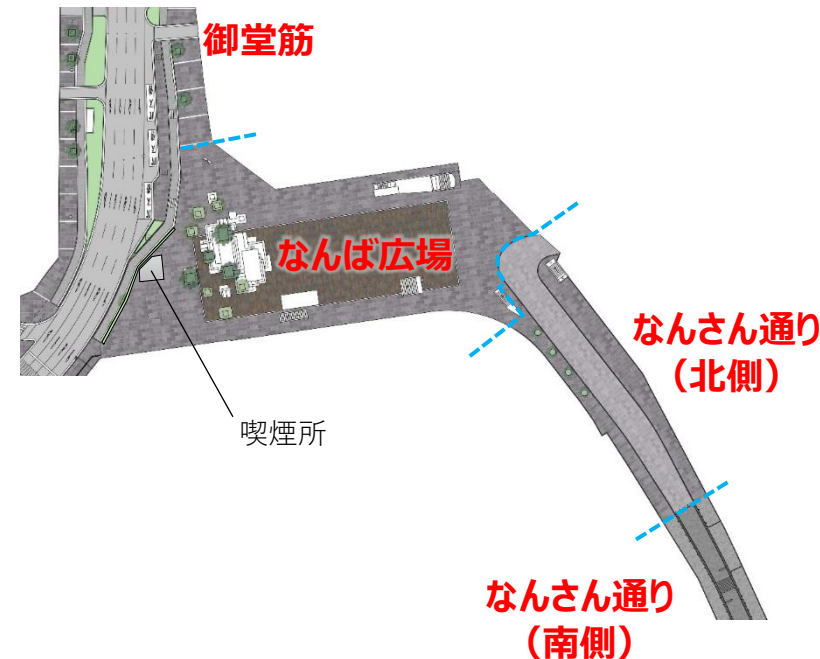
利活用エリアは通行空間と緩やかに区分



【駅前広場の現況(R3夏時点)】



【将来イメージ】



2. 喫煙所の整備

- 空間再編に合わせて、喫煙所の再整備を行うに際し、広場が憩いの場となるよう受動喫煙が生じにくい閉鎖型の喫煙所を設置する。
- 閉鎖型喫煙所は広場と調和するデザインとし、地元や有識者と調整しながら決定。

— 人が美しく見える舞台づくり —

— 上質なおもてなしの空間づくり —

— 滞留性と回遊性の向上 —

滞留の場は、人々が過ごす風景を美しく見せる舞台である



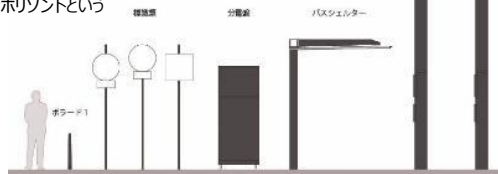
周囲の建築や上質な空間に馴染む、背景としてのたたずまいが求められる



周辺のビル・建物と共に、広場の Horizont とする



※舞台装置の背景を Horizont という



地上物のカースキームは御堂筋からなんば広場までダークグレーで統一されている

<人々の舞台である滞留空間の背景となるように、やさしい木質の表情をルーバーで取り入れる>

左記のデザイン方針を元に、喫煙所のファサードに木質感のあるルーバーを取り入れる。木の表情と柔らかな光の出入りで、人々を優しく包み込む空間をつくりだす。

<喫煙所イメージパース>



3. 広場の景観ルールについて

- 広場では、エリアマネジメント組織による維持・運営をめざし、令和5年秋ごろの先行供用以降、管理・運営の社会実験を実施予定。
- 広場の利活用や景観誘導等のルールに関しては、上記社会実験を踏まえ、エリアマネジメント組織が道路空間上の広告物や設置物を自主的に審査するような、地域ルールの構築を検討する。